

[平成13年度 普及に移す技術]

シンテッポウユリ「F1オーガスタ」の8、9月出荷作型							
[要約]「F1オーガスタ」は、8、9月出荷作型に有望です。播種時期は2月中旬以降が良く、以後4月上旬まで可能です。出荷時期は7月下旬から9月中旬までとなり、切り花品質も優れています。							
農業試験場・園芸・ハレク部・ 花き研究グループ				契機	普	要請元	奥越農林総合 事務所
部会名	野菜・花き	専門	栽培	対象	花き類	分類	普及

[背景・ねらい]

シンテッポウユリは大野市を主に産地化されており、品種は「北岳2号」が用いられています。しかし、本品種はりん片繁殖性のため、ウイルス病やその他病害による育苗中のりん片腐敗が見られ、切り花率が著しく低下し生産が低迷しています。そこで、本県に適した実生系の優良品種を選定し、長期出荷作型を確立します。

[技術の内容・特徴]

1. 「F1オーガスタ」は、4月から6月初旬にかけての定植作型で、すべての切り花品質が「北岳2号」を上回ります。特に、5月以降の定植でも3輪以上の花を着ける株が多く現れます(表1)。
2. 「F1オーガスタ」の切り花率は、どの作型でも90%以上となります(表1)。
3. 電熱温床条件下では、2月中旬以降の播種であれば60日間で定植可能な苗ができます(表2)。
4. 1月下旬播種(4月上旬定植)作型は、2月中旬播種(4月中旬定植)作型とほとんど同じ開花時期となるため、播種時期は2月中旬以降が適当です(図1)。
5. 4月上旬播種(6月上旬定植)作型の開花時期は8月末から9月中旬で、切り花品質も優れ、9月出荷にも適応できます(表1、図1)。

[技術の活用面・留意点]

1. シンテッポウユリの8、9月出荷に有効です。
2. 1作型での開花期間が「北岳2号」よりかなり短いので、作期拡大には段まきが必要です。
3. 病害虫防除および肥培管理は、「北岳2号」に準じた管理が必要です。

[具体的データ]

表1 播種、定植時期が切り花品質におよぼす影響

品種	播種期 ^{*1} (月/日)	定植時期 (月/日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	茎径 (mm)	平均 花数	3輪以上 出現率(%)	切り花 率 ^{*2} (%)
オガスタ	1/31	4/1	127.0	161.7	8.6	3.9	74.7	100
	2/14	4/15	132.9	175.9	8.9	3.7	82.9	96
	3/2	5/1	114.3	133.9	8.1	3.2	73.9	96
	3/16	5/15	105.0	116.3	7.7	2.8	62.9	100
	4/2	6/1	96.5	97.8	7.9	2.7	55.7	96
北岳2号 (対照)	3/2	4/1	122.6	150.5	8.2	3.5	54.7	128
	3/16	4/15	108.1	111.5	7.5	2.9	40.4	112
	4/1	5/1	111.8	124.3	8.0	3.2	63.0	86
	4/15	5/15	101.8	98.1	7.5	2.7	44.3	112
	5/2	6/1	89.4	74.0	6.9	2.1	15.8	78

* 1 : 「北岳2号」の播種期はりん片挿し期。

* 2 : 切り花率 = 総切り花本数 / 生存株数 × 100

耕種概要 雨よけハウス内で栽培。無マルチ。

施肥量 N : 35 P₂O₅ : 25 K₂O : 26 (成分量kg / 10a)

畦幅1.4m、5条植え、株間15cm

表2 播種期が苗質におよぼす影響

播種期 (月/日)	草丈 (cm)	葉数	球径 (mm)
1/31	8.8	2.1	2.7
2/14	8.1	2.6	3.2
3/2	8.5	3.0	3.3
3/16	9.1	2.9	4.7
4/2	12.6	3.0	3.9

品種「F1オーガスタ」、育苗期間60日
育苗温度 最低地温20 設定(電熱温床)

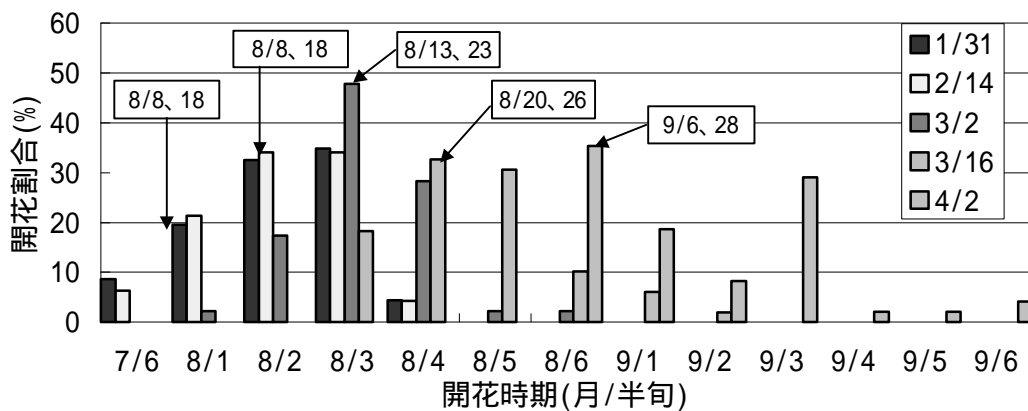


図1 「オーガスタ」の播種期別開花割合

枠内は区の平均開花日(月/日)および開花期間(日)